

令和7年度 第2回 江東区みどりの基本計画推進会議 次 第

日時：令和7年11月7日（金）14時00分～

場所：江東区文化センター4階第2・第3会議室

1 議題

(1) 令和7年度新規事業等の取組状況について (資料1)

(2) 「(仮称)江東区街路樹植栽ガイドライン」の策定について

(資料2、参考2、参考3)

2 その他

配布資料

- 次第（本紙）
- 江東区みどりの基本計画推進会議 委員名簿
- 資料1：令和7年度新規事業等の取組状況について（ピックアップ）
- 資料2：「(仮称)江東区街路樹植栽ガイドライン」の策定について
- 参考1：第1回みどりの基本計画推進会議についてのご意見とその回答について
- 参考2：(仮称)江東区街路樹植栽ガイドライン（素案）
- 参考3：第1回みどりの基本計画推進会議における「(仮称)江東区街路樹植栽ガイドライン」へのご意見に対する対応
- 意見等回答様式

江東区みどりの基本計画推進会議 委員名簿

令和7年11月7日 現在

職名	氏名	現職等	
会長	島田 正文	一般社団法人日本公園緑地協会 研究顧問	学識経験者
副会長	柳井 重人	千葉大学 大学院園芸学研究院 教授	
委員	橋本 敏之	枝川2・3丁目町会	町会及び 自治会代表
委員	八木澤 あや子	公募区民	公募区民
委員	葎葉 抄子	公募区民	
委員	美濃又 哲男	みどりネットKoto 代表	みどり 活動団体
委員	須永 淑子	NPO法人江東区の水辺に親しむ会 理事長	
委員	佐々木 貴智	NECソリューションイノベータ株式会社	みどり 活動事業者
委員	渡部 陽介	清水建設株式会社 技術研究所	
委員	小林 英忠	第五砂町小学校 校長	小学校長会代表

区職員

職名	氏名	現職等
委員	石井 康弘	土木部長
委員	山田 英典	土木技術担当部長
委員	小林 愛	企画課長
委員	山口 貴則	営繕課長
委員	上原 新次	地域振興課長
委員	岩田 勉	保育政策課長
委員	西谷 淳	温暖化対策課長
委員	谷川 寿朗	都市計画課長
委員	清田 光晴	管理課長
委員	召田 和也	道路課長
委員	古木 健人	河川公園課長
委員	大野 俊明	施設保全課長
委員	西尾 基宏	学校施設課長
委員	金指 大輔	指導室長

令和7年度の新規事業等の取組状況について(ピックアップ)

1 みどりを水彩都市・江東の魅力づくりに活かします

事業	内容	R7計画
CIG公共・民間緑化推進事業 (KOTOみどりの庭プロジェクト)	ナチュラルスティックガーデン整備 (基盤整備工事+講座内での植付)	1か所



○事業概要

- ・花を用いた景観づくりや新たな緑化手法の発信等を行う場としてナチュラルスティックガーデンを整備。
- ・区民参加による花壇整備と、クラウドファンディングを活用した企業協賛金の募集により、地域でみどりを育てていくことで、みどりの魅力や大切さを効果的に広めていく。

○取組状況

- ・花壇土壌基盤等整備工事
花壇の土壌及び園路の整備工事
9月末より工事を開始、土壌・園路の整備10月29日完了。
- ・ナチュラルスティックガーデン講座
公募による参加30名 全5回で座学と実習を実施
7月29日(火) 第1回 座学「多年草ガーデンの魅力」
8月28日(木) 第2回 座学「ガーデニングの基礎知識」
10月30日(木) 第3回 実習「多年草の植付」
- ・クラウドファンディングを活用し、協賛スポンサーをHPにて募集開始



○今後のスケジュール

- ・ナチュラルスティックガーデン講座
令和7年11月27日(木) 球根の植付 (実習)
令和8年 1月29日(木) 花とみどりのできるこ (座学)

2 みどりをより柔軟に使えるようにします

事業	内容	R7計画
若洲公園整備事業	Park-PFIを活用した大規模リニューアル	実施

○事業概要

- ・「若洲公園整備方針」を令和5年3月に策定し、メインテーマを【親子で過ごす江東区版ゼロカーボンパーク】として、令和9年4月開園に向けリニューアル中。
- ・若洲公園をより魅力的な公園にするため、公募設置管理制度(Park-PFI)を活用し、官民が連携して整備
- ・Park-PFIとは別事業により、未来に向けた新たなシンボルとなる都内最大の大型遊具を整備

○取組状況

- ・若洲公園整備事業(特定公園施設)整備工事
 工期:令和7年7月7日~令和9年3月19日
 契約額:1,322,218,700円
 内容:ビジターセンター、エネルギーコリドー(太陽光パネルを使用した回廊)ほか
- ・若洲公園整備事業(大型遊具)設計委託
 工期:令和7年5月16日~令和7年12月19日
 契約額:25,080,000円
 内容:大型遊具の設計

○今後のスケジュール

- 若洲公園大型遊具ワークショップ
 対象:小学校1年生~4年生30人程度
 大型遊具に設置するキッズアート階段をデザインする
 【第1回】令和7年10月26日(日)
 【第2回】令和7年11月16日(日)



4 みどりをみんなで守り育て伝えます

事業	内容	R7計画
CIG民間緑化推進事業 (江東区みどり百景)	地域のシンボル等となるみどりの景色の情報発信とシティプロモーションへの活用	選定 (深川地区・南部地区)

○事業概要

・区内の良好なみどりの景色をフォトコンテストで選定し、マップ・モバイルスタンプラリーにて情報発信することで、みどりへの関心を広げるとともに、みどりの保全や地域コミュニティの活性化、地域ブランドの発掘によるシティプロモーションにつなげる。



○取組状況

- ・(一社)江東区観光協会が実施するフォトコンテスト「魅力百様、江東区」において「江東区みどり百景」の部門を設け、区内の良好なみどりの景色を募集中
募集期間:令和7年7月1日(火)~11月18日(火)
- ・令和7年度:深川・南部地区、令和8年度:城東・湾岸地区でそれぞれ50作品を選定
- ・50作品の内訳:金賞1作品、銀賞3作品、銅賞6作品、佳作20作品、入選20作品
- ・応募状況:令和7年11月5日時点526作品

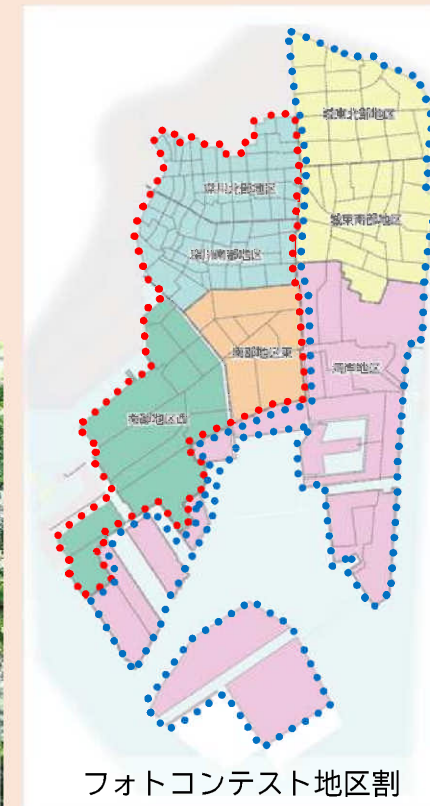
○今後のスケジュール

- 11月:1次審査 募集条件との適否確認
- 12月:2次審査 50作品を選定
- 3月:区報にて結果発表

令和8年度は同様にして城東・湾岸地区の作品を選定するとともに、深川・南部地区のマップ作製とモバイルスタンプラリー実施する。



みどり百景イメージ
(みどりの基本計画(後期)表紙)



フォトコンテスト地区割

4 みどりをみんなで守り育て伝えます

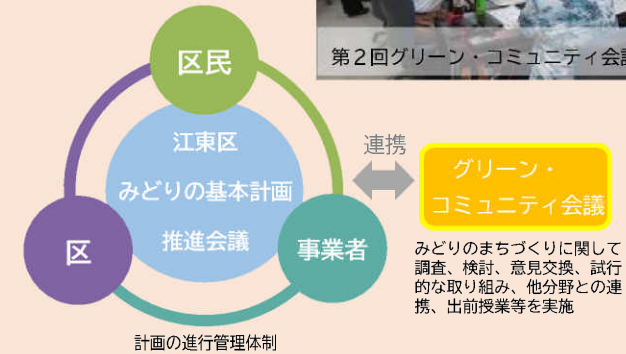
事業	内容	R7計画
みどりの基本計画進行管理事業 (グリーンコミュニティ会議)	「江東区みどりの基本計画推進会議部会」に代わる多様な主体の協働の場として後期計画にて位置付け。課題に対する調査、検討、意見交換、試行的な取組や、推進会議との連携を行う。	4回



第2回グリーン・コミュニティ会議の様子

○事業概要

- ・みどりに関係する多様な主体の協働の場
- ・計画前期の「江東区みどりの基本計画推進会議部会」における活動を発展させ、区民・みどり活動団体・事業者・区等、様々な関係者が連携し、みどりのまちづくりを更に推進していく。
- ・グリーン・コミュニティ会議は年4回実施



みどりのまちづくりに関して調査、検討、意見交換、試行的な取り組み、他分野との連携、出前授業等を実施

○取組状況

- ・参加者:23名(区民7名、みどり活動団体6名、事業者6名、行政関係職員4名)
- ・みどりの基本計画(後期)の課題解決に向け、下記テーマについてワークショップを実施
令和7年6月10日 第1回テーマ:「みどりへの関心を高め、仲間を増やしていくためのアイデア」
令和7年8月29日 第2回テーマ:「区民がCIG活動を「知る・気づく」ためのアイデアを深めよう」

グリーン・コミュニティ会議の位置付け

○今後のスケジュール

- ・出前授業の実施(令和8年1月~3月)
- ・グリーン・コミュニティ会議
「知る・気づく」の仕掛けとして、ポータルサイトの充実や試行イベントの企画等に向けた検討を進めていく。
令和7年11月26日 第3回テーマ「(仮)試行イベントと情報発信手法の内容検討」
令和8年 2月10日 第4回テーマ「(仮)試行イベント・情報発信の実施にむけた詳細検討」



グリーン・コミュニティ会議の方向性
(令和7年度グリーン・コミュニティ会議「会議に期待する点」4回)

つなげる (輸-入)	広げる (産、産が産-入)	発展・ 対応を促す
<ul style="list-style-type: none"> 参加者の多様化(区民、事業者、行政関係職員) 参加者の多様な意見の反映 参加者の多様な意見の活用 参加者の多様な意見の活用 参加者の多様な意見の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 人と人とのつながり 人と人とのつながり 人と人とのつながり 人と人とのつながり 人と人とのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の多様な意見の活用 参加者の多様な意見の活用 参加者の多様な意見の活用 参加者の多様な意見の活用 参加者の多様な意見の活用

会議資料

「(仮称)江東区街路樹植栽ガイドライン」の策定について

現在「(仮称)江東区街路樹植栽ガイドライン」の素案を作成中であり、各章における構成内容や追記すべき要素等について、専門的な知見からの意見を求める。

1 構成

- 1章 はじめに 背景、目的、役割、適用範囲
- 2章 街路樹の現状と課題 . . 地理的・実務的な現状と課題
- 3章 取組の方向性（目標）・街路樹のあるべき姿と取組目標
- 4章 街路樹の維持管理 . . . 本区の維持管理の詳細
- 5章 街路樹の整備 本区の整備基準と樹種選定
- 6章 まとめ 活用方法と今後の見通し

2 今後について（予定）

- 令和8年2月 素案の修正案を提示
- 令和8年度第1回 最終（案）の報告
- 令和8年8月 HPで公表

令和7年度 第1回 江東区みどりの基本計画推進会議についての

ご意見とその回答について

日時：令和7年5月29日（木）10：00～12：00

場所：江東区文化センター4階 第2、3会議室

◆議題1 令和6年度事業進捗について

主なご意見	回答
樹木の伐採届の実績について教えてほしい。	令和6年度は高さ5m以上の樹木として786本について伐採の届出がなされておりました。（うち70本が幹回り60cm以上の樹木）
地域の特性を生かすために植栽が上手に活かされていると思うが、小さくてもいいのでどこかに今後の管理計画も明示されると、今後の経過観察もしやすいと思うがどうだろうか。柳井先生の仰る見える化につながると思う。	いただいたご意見を参考とさせていただき、情報発信の一環として検討してまいります。
学校ポケットエコスペース；ネットワークの拠点や異分野との協働においても教育・福祉分野が有力な候補と考えています。新設・既設を問わず学校ビオトープにおける整備・活用を支援する仕組みを拡充する可能性や課題について改めて教えていただくと幸いです。 身近な公園の防災機能の強化；着実に推進されている印象を受けました。災害時の水の確保について、雨水の活用なども検討されているのでしょうか。	現在策定中の生物多様性地域戦略においてもPESについては重要な役割を担うものとして認識されています。専門家による管理方法の指導など、部署の垣根を超えた取り組みについて検討を進めております。 公園によっては防火水槽等の設備が設けられていますが、災害時は原則的に広域避難場所等への避難を想定しているため、雨水の貯留施設については設けておりません。
たくさんの事業を実行、振り返りいただきありがとうございます。小学校改築事業ポケットエコスペースの設備についてですが、改築予定の学校がなかったために対象なしとありましたが、改築のタイミングはいつもあるものではないと思うので、既存の学校への新規改築の提案があっても良いのではと思いました。また、区民農園が砂町に新しく出来たことも、とても嬉しく思います。会議でも発言させていただきましたが、どう考えても商業、ビジネス視点からみても一等地である原宿のど真ん中に畑が出来たことはすごい事だと思います。“みどり”や“農”“食料自給率”に関心が高まっているこの時代、江東区では空き地が駐車場、タワーマンションになる場所をよく見かけますが、区民も協力しながら、みどりや農地が変わってくれたら嬉しいです。	学校PESについての拡充可能性等について今後検討してまいります。 新規開園した砂町区民農園をはじめ、今後も身近な農体験の場の提供について検討してまいります。

◆議題2 令和7年度事業計画について

主なご意見	回答
<p>緑を増やすための方策をグループ分けしているようだが括り方がなかなか難しいと思う。景観としての緑、日陰としての機能させる緑、コミュニケーションツールとしての緑、それぞれの役割をいくつかアイコン化して表示すればそのプロジェクトの緑の重要度が理解しやすいのではないか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 色分けにて、基本方針との対応を表現しておりますが、よりわかりやすい資料となるよう検討してまいります。</p>
<p>みどりの庭プロジェクト：ナチュラルスティックガーデンや多様な参加の仕組みなど、モデルガーデンとして、広く区民や他地区へと波及していくことを期待しています。その際、都市の生物多様性や気候変動適応（例：雨水の活用・浸透、暑熱対策）や脱炭素（バイオ炭活用によるCO2固定）、資源循環など、多様な効果についても見える化していけると良いと考えます。</p> <p>公園マスタープラン策定事業：区立公園自体の拡充を核にCIGを地域に広げる視点も重要と考えています。区立公園を起点として、周辺の公園緑地や公共施設のみどり、NPO・市民団体や企業などによるみどり活動などと協働したまちづくりへと波及・展開という観点についても可能な範囲でご検討いただけると良いと考えます。</p> <p>江東みどり百景：CIG魅力発信の手段として重要施策と考えています。推進会議であった参加型プロセスにも賛成です。公園や沿道、河川・運河といった公共空間はもちろん、マンションや学校、企業敷地、建物の屋上など、さまざまな潜在的な魅力の発掘により、官民によるCIGの普及展開にもつながる施策になることを期待しています。</p> <p>DX推進：イベントや活動の発信やみどりの魅力の見える化など発信が先行と思いますが、その先には、区民の意見・アイデアなどフィードバックが得られる仕組みも検討の可能性がありました。</p>	<p>KOTO みどりの庭プロジェクトではみどりの持つ多様な効果について、わかりやすく周知してまいります。</p> <p>公園マスタープランの策定にあたっては、周辺緑地との関係性についても可能な範囲で検討してまいります。</p> <p>江東区みどり百景では、参加型プロセスを導入し、さらにマップを活用した魅力発信の取り組みについても実施予定です。</p> <p>DX推進についてはフィードバックの仕組みについても検討してまいります。</p>
<p>ナチュラルスティックガーデン講座や、みどり街歩きイベントなど、過去に提案があったものが計画、実現されていて感動しました。スピード感のある対応をありがとうございます。役所関係のことは実現までとにかく時間がかかるというイメージがあったのですが、（地域によってはそれが悩みになっていることがあるようで、友人からそのような話を聞くことがよくあります。）江東区のスピード感ある計画、実行力に感謝します。友人にも自慢しようと思います。</p>	<p>ありがとうございます。引き続き皆様の要望に沿った迅速な対応ができるよう取り組んでまいります。</p>

◆議題3 江東区みどりの基本計画推進会議部会の活動報告

主なご意見	回答
<p>普通の会議ではなく体験型のコミュニケーションが良かった。そしてグリーンコミュニティ会議につながり、今後我々の緑のネットワークが広がり始めているのを感じる。</p>	<p>部会に引き続き、グリーン・コミュニティ会議においても様々な主体の集まる場ならではの取り組みを進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。</p>
<p>グリーンコミュニティ会議をきっかけに、部会の活動成果が区内のさまざまな地域へ展開・発展していくことを期待しています。</p>	
<p>部会活動おつかれさまでした。グリーンコミュニティ会議に昨日参加しましたが、これからますます楽しみになるような会でした。みどりに関心のある人たちが集まり、考え、対話していく時間を作ってください本当にありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。</p>	

◆議題4 (仮称)江東区街路樹植栽ガイドラインについて

主なご意見	回答
<p>会議でも話したが、樹木には本来の姿がある。ところがその樹形を無視した剪定がされている街路樹を見ることが多い。例えばイチョウなどがそれである。(江東区の範疇ではないかもしれないが) 本来の樹形に近づけるのか、トピアリーを作るのか、樹名板に模式的な図をつけたら市民にも関心を持って見てもらえるのではないかな。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。各事業の展開にあたって参考とさせていただきます。</p>
<p>みどりと人が安心安全に過ごせるためにも必要なものだと思います。倒木の恐れのあるものなどは別ですが、例えば落ち葉への苦情から伐採することになった樹木については、焼き芋会や、落ち葉回収プロジェクト(コンポストに集めてもらい堆肥にする。また、落ち葉を持ってくと堆肥や花の種がもらえる)など、アイデアを考え、住民だけでなく、地域の子どもも一緒に参加することで、みどりを介したコミュニケーションの場が出来たらいいのではと思いました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。落ち葉を単なる邪魔なものと認識しないでいてもらうための取り組みとして参考にさせていただきます。</p>

◆自由記載（補足など）

主なご意見	回答
<p>落ち葉のカーペットや新緑時の癒し効果などの、区民の生の声を聞くことができ参考になりました。</p> <p>公共施設に隣接する街路樹等においては成長して行く過程で、施設エリアのインフラと接触してしまう事例もありますので、根回しの方法についての考え方などあれば、教えてください。落葉樹の葉が、屋根に落ち、樋を詰まらせる事例もありますので、あわせてお願いいたします。</p>	<p>現状区ではまだ行えておりませんが、シートを設置することにより特定方向への根の身長を予防する方法があります。一度伸長してしまうと問題になるころには根鉢の確保等の関係で移植も難しくなるケースが多いため、予防措置をとることが大切であると考えています。落葉樹についても短絡的に常緑樹に置き換えるのではなく、夏は日陰をつくり、冬は葉を落として日向とする天然の調整機能を備えたインフラ設備として考えていくべきものと考えています。</p>
<p>以前仕事で各地のマンションを取材する機会があった。豊かな植栽のあるマンションは概してコミュニティがしっかりしている印象を受けた。周囲の環境に関心を持ち、管理が行き届いている。その上可能な部分だけでも自分たちで手入れする方法を教えると、植物に触る楽しみに目覚め、喜んで手入れをし始めた。植物を使つてのコミュニケーションは可能であり、CIGの推進に有効だと思っている。</p>	<p>江東区におけるマンションの緑化とそのコミュニティ醸成は、CIG施策を進めるうえで非常に重要だと考えております。引き続き講座等の開催を通して、拡充を図ってまいります。</p>
<p>区民として、何か活動、連携が出来ないかを考えた時に、例えば私の存在ですと、現在、子供の小学校 PTA 本部 役員をしているのですが、学校では PTA との連携も出来たらいいのではと思いました。PTA に関しては、昨今、共働き家庭が増えていることから、賛否両論ありますが、地域や子供のために何かしたい、と考える親も少なからずいます。そうした時に、ベルマークの回収以外にも出来ることあるのではと思います。例えば、学校コンポストの設置や、ポケットエコスペースの管理など。ちなみに私は PTA をきっかけに、まだベルマークは存在しているんだ、ということを知り、実際に何枚か見つけてそれを切って、学校へ提出しました。完全にトップダウン方式ではありますが、みどりのことを知ってもらったり、活動するには手っ取り早い方法かもしれません。現在、PTA 活動は変革期でもあり、学校によっては活動を縮小したり、今まであった部の名前を成人部を SDGs 部に、児童部をイベントサポート部に、など、名称をわかりやすく変える学校もあります。そんな中のみどり部があっても良いのではないかと思います。引き続き、自分たちに出来ることを考えていけたらと思います。ちょっとしたアイデアでした。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。CIG 施策を進めるうえで、既存の活動に相乗りするような形で情報を発信していくこと、取り組みを推進していくことは、効率面からも重要なことであると考えています。</p> <p>部署・分野をまたいだ連携の方法についても今後検討してまいります。</p>